

第2回 JUC発表会

「ベーシック治療は変わったのか」

このたびスタディグループ JUC は、昨年に引き続き第2回の発表会を行う運びとなりました。歯科治療にも流行が存在し多くは時間とともに消えてゆきます。そして私たち臨床医はしばしばその流行に振り回されます。しかしながらその一方で私たちはその進化や変化を真摯に受け止め、自ら変革しなければならないことも事実です。

『何が変わったのか』を察知するとともに『何故変わったのか』を考えることは重要です。そしてそこから得た知識を基に、自身の臨床にどう結びつけるかは各人の課題であると言えます。

今回の発表会では個人発表とともに変わりつつあるベーシック治療の3つの課題について3名のモデレーターを中心に検討してゆきたいと思っております。皆様のご参加を会員一同お待ちしております。

JUC会長 水上 哲也

■ 個人発表

服部 俊嗣・山口 康介

■ シンポジウム

■ イントロダクション
久木田 大・坂田憲彦

■ エックス線診断編
葛西 秀夫・木山 洋
雑賀 伸一・江田 英一郎

■ エンド編
神田 亨・土肥 博幸
平井 友成・小関 亮介

■ 支台築造編
小山 浩一郎・松下 容子
村川 達也・池上 龍朗

■ デンタルエックス線写真を三次元的に診る、イメージする：葛西秀夫

歯科用 CBCT の普及をきっかけに、これまで以上に正確な診査・診断ができるようになった。しかし、日常臨床において、既存のレントゲン画像は依然として有用で、特にデンタルエックス線画像がレントゲン診断の基本であることには変わりはないであろう。ここでは、現在用いられている各種レントゲン装置から得られる情報の特徴、利点、欠点を再考し、より精度の高い診断に結び付けていくヒントを探していきたい。

■ エンドは変わったのか ベーシックからの見直し：神田 亨

歯科治療は近年、技術・材料・器材など大きく進化を遂げている。根管治療においても同様であるが、その概念など不変のものがあることも事実であると考えられる。このパートでは歯の解剖学的形態を踏まえ、根管へのアプローチの仕方について、従来の考え方や手法と変わってきたことを比較・考察してみたい。

■ 支台築造再考～メタルコアとファイバーコア、臨床の分岐点～：小山浩一郎

根管治療後の補綴処置にあたり、通常支台築造が行われる。CAD/CAM 冠の保険導入もなされる昨今、支台築造を今一度見直し、適切な症例の選択と術式を考えることが出来れば幸甚である。

■ ランチョンセミナー：林美穂・金成雅彦

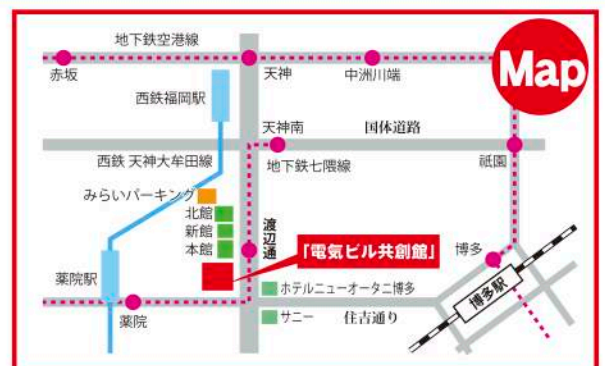
※申し込みは当日受付にて
先着順にさせていただきます

日時：平成 26 年 12 月 7 日(日)

受付開始 8:30 ~

9:00 開演 ~ 16:30

会場：電気ビル共創館 4F みらいホール
福岡県福岡市中央区渡辺通 2-1-82



参加費

歯科医師：事前申し込み：9,000 円(税込) / 当日申し込み：10,000 円(税込)

歯科医師以外：事前申し込み：4,000 円(税込) / 当日申し込み：5,000 円(税込)

事前申し込みの方にはお弁当がついております

■ JUCメンバー ■ 池上龍朗・糸瀬辰昌・江田英一郎・小関亮介・小山浩一郎・葛西秀夫・金成雅彦・神田亨・木山洋・久木田大・雑賀伸一・坂田憲彦・土肥博幸・服部俊嗣・馬場正英・林美穂・平井友成・古澤博久・松下容子・三浦真由美・水上哲也・村岡卓也・村川達也・森本昌孝・山口康介・吉松繁人 (50音順)



ホームページにて案内は随時更新しております。
JUC ホームページ <http://juc2012.com/>

お申し込みは裏面をご参照ください